

一般社団法人 社会医学系専門医協会

2025 年度(2025.7-2026.6) 事業計画

【 期 間 】

第十期:2025(令和 7 年)年 7 月 1 日~2026(令和 8 年)年 6 月 30 日

【事業計画】

Ⅰ. 社会医学系の専門医、指導医の育成と生涯学習に関する事業

1) 指導医講習会の開催

各学会・団体が、学術総会のプログラムとして年 1 回程度開催(全国保健所長会は、ブロックごとに実施)

※現状は e ラーニングでも 1 回分受講可

2) 統括責任者連絡会議の開催(年2回程度)

3) 必修共通科目(安全・感染対策・倫理)について開催

各学会・団体が、学術総会のプログラムとして実施。3か月前までの申請があれば、審査の上で K 単位としてカウントすることを承認する。

日本専門医機構が認定している共通講習や、大学病院での施設内講習や E ラーニングは K 単位も付与する。

※更新ルール、特例措置による社会医学系専門医・指導医の制度、受験資格 B について、特に変更点がわかるようなかたちで整理のうえ周知・徹底の発信を専門医・指導医認定委員会にて行う。

4) eラーニングの活用と運営

社会医学系 eラーニングコンソーシアムの共同運営および更新された基本プログラムの e ラーニングコンテンツの有効な活用を促進する。

5) 更新研修会の開催(更新研修会=専門医・指導医が資格の更新に必要な研修会)

更新ルールのさらなる周知・徹底 ……更新研修会の主催は各学会・団体

K 単位研修:構成団体(情報掲載と名簿報告を協会に送る)

受講証明:構成団体が発行

指導医講習会と共通講習の確認は専門医・指導医認定委員会

6) 日本専門医機構の必修講習との連携について

日本専門医機構の担当者と連携を取り、当協会の構成団体が実施する講習について日本専門医機構の必修講習として認定していただくことが可能か議論を行う。特に、日本専門医機構の必修講習 B(医療制度と法律、地域医療、医療福

祉制度、医療経済（保険医療等）、両立支援)については、社会医学との関連が深く、当協会の専門医制度における位置付けを検討するとともに、当協会の構成団体が実施する講習にこれらの内容を含めることを検討、調整する。

2. 社会医学系専門医、指導医の認定に関する事業

1) 専門医・指導医認定委員会の開催

専門医・指導医認定委員会を下記の通り3回開催する。

	開催日	概要
第1回	2025.7.XX	- 第7回専門医認定試験の受験資格審査 - 第7回専門医認定試験の実施方法（試験分科会からの報告） 「専門医・指導医の更新について（更新手続き・今後のスケジュールのご案内）」（2025年度更新申請用）の検討 - 名誉社会医学系専門医・指導医の審査
第2回	2025. 9.7	- 第7回専門医認定試験の合否判定 - 試験の振り返り
第3回	2026.1.XX	- 更新申請の状況の報告 - 更新申請に係る審査（更新、保留、延長、辞退、未反応に分類） - 更新要件の緩和の検討 - 特例措置による社会医学系専門医・指導医の審査 - 第8回専門医試験実施要項の検討

2) 専門医・指導医の認定・登録、認定証の交付

- 専門医認定試験の合格者に対し、登録申請書の提出、認定・登録料の支払について適切に情報提供を行い、認定証を交付する。

3) 専門医認定試験の実施と運営

- 試験分科会を、下記の通り3回開催する。
- 試験実施要項など情報発信、試験の準備を行い、試験問題のブラッシュアップや、受験資格審査を経た上で、2025年9月に第7回専門医認定試験を実施する。

	開催日	概要
第1回試験分科会	2025.7.XX	試験問題のブラッシュアップ

第2回試験分科会	2026.3.XX	・ 専門医認定試験実施要項の検討
第3回試験分科会	2026.4.XX	・ 専門医認定試験実施要項の検討 ・ 面接試験の実施方法の検討

3. 社会医学系の専門医・指導医の認定・更新に関する事業

1) 専門医・指導医資格更新要件の理解の普及

- ・ 各学会・団体が、学術総会のプログラムとして年1回程度開催（全国保健所長会は、ブロックごとに実施）する指導医講習会を通じて、専門医・指導医資格更新要件の理解を普及し、更新率の向上を図る。
- ・ 2025年度の更新手続きにより、5年ごとの更新が一巡するため、2026年度の更新に向け、更新要件の緩和に向けた検討を行う。

2) 特例措置による社会医学系専門医・指導医の制度の普及

- ・ まだ専門医や指導医の普及の余地があるため、十分に適切な実績・研修等をもって専門医や指導医を認めるために制度化された、医師免許取得後20年以上経過した者に対する特例措置による社会医学系専門医・指導医の制度の普及・定着を図る。
- ・ 2024年度に友好社員として加わった、日本医学教育学会、日本国際保健医療学会及び日本法医学会に対して、特例措置による社会医学系専門医・指導医の制度の普及を図る。

3) 受験資格B制度の普及

- ・ まだ専門医や指導医の普及の余地があるため、十分に適切な実績・研修等をもって専門医や指導医を認めるために制度化された医師免許取得後10年以上向けに創設した受験資格B制度の普及・定着を図る。
- ・ 2024年度に友好社員として加わった、日本医学教育学会、日本国際保健医療学会及び日本法医学会に対して、受験資格B制度の普及を図る。
- ・ ただし、その際も、専攻医の研修を経て専門医になりさらに経験を積み実力を向上し指導医になるという本来の道筋の魅力を損なうものであってはいけない。

4) 名誉社会医学系専門医・指導医の制度の普及

- ・ 退職後も社会医学の発展に寄与し続ける意思を持つ社会医学系専門医・指導医に対し、その経験と知識が後進の育成や社会医学の発展に活用されることを目指して創設した名誉社会医学系専門医・指導医の普及・定着を図る。

5) 社会医学系専門医制度の法制化を目指した活動

- ・ 2024 年9月に医師法施行規則等の一部を改正する省令が公布され、2024 年 12 月末時点の医師の業務従事状況の報告の様式の「主たる業務内容」の欄に「公衆衛生業務」が追加されるとともに、「取得している広告可能な医師の専門性に関する資格名、麻酔科の標榜資格、社会医学系専門医及び医師少数経験認定医師」の欄に「社会医学系専門医」が追加された。
- ・ 社会医学系専門医は、現時点において「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について」（平成 19 年医政局総務課長通知）に記載されていないため広告はできない。ただし、患者等が自ら求めて入手する情報を表示するウェブサイトなどについては、広告可能事項の限定解除要件を満たした場合には、広告可能事項の限定を解除可能となっている。
- ・ 今後、社会医学系専門医が、医療に関する広告が可能な医師等の専門性に関する資格名として法制化されることを目指し、厚生労働省の「国民・患者に対するかかりつけ医機能をはじめとする医療情報の提供等に関する検討会」の「医療機能情報提供制度・医療広告等に関する分科会」に係る情報収集を含む必要な活動を行う。

4. 専門研修プログラムと研修施設の認定に関する事業

- 1) 研修プログラム認定委員会の開催（年間 4 回を予定）
- 2) 研修プログラムの登録申請受付、認定、登録
- 3) 全国の研修プログラムの質管理（各プログラムの年次報告をまとめる、フィードバックする）
- 4) 基本プログラム相当の講義等の新規認定、維持・更新
- 5) 研修記録の様式の更新

5. 社会医学系専門医制度の評価と発展に関する事業

- 1) 企画調整委員会の開催
年 4 回程度、電子的開催が中心（対面会議は 2 回まで）
総会・理事会の審議事項のレビュー等
- 2) 広報の検討
 - ・ 学会等での展示
第 84 回日本公衆衛生学会総会（2025 年 10 月 静岡）で実施する
その他の学会等でも実施したい（無人ブースであっても）
 - ・ ニュースレターとメルマガ

従来の形で継続し、情報発信する予定

3) 連携の検討

- ・ 学会における合同シンポジウム等
第 57 回日本医学教育学会大会における合同シンポジウム
ACP 日本支部年次総会・講演会 2025 医療機関紹介企画
第 84 回日本公衆衛生学会総会における公募セッション企画
- ・ 学会総会における指導医講習会

4) 社会医学系の医師人材の確保・育成の促進

是非、活用していきたい。

- ・ マンガ、動画、インタビュー記事など
- ・ プライバシーポリシー改定と専攻医・専門医・指導医への調査が可能となったことを受けて、新たな調査を検討する（現場での課題や研修会で取り上げてほしいテーマ等）
- ・ 保健所の動画

5) 社会医学系専門医・指導医に関するデータおよびそれを用いた研究について
研究データの解析・発表を行う予定

6) その他、当制度のレビューと維持・発展に関する検討

6. 社会医学系専門医の普及及び啓発に関する事業

- 1) ニュースレターの発行（年 4 回予定）、専門医・指導医の取得・更新に関する単位の情報を載せる
- 2) メルマガの配信（専攻医・専門医・指導医あてに重要なお知らせ、適時）
- 3) ホームページの更新（随時）
- 4) 上記の他、広報に関する事項
専門医制度についてのシンプルなマニュアル（ダイジェスト・クイックスタートマニュアル的な）を作成する
- 5) 構成学会での展示
構成学会との合同シンポジウム
ACP、日本医学教育学会との連携を深める
第 32 回日本医学会総会(2027)において展示を行う
- 6) 医師調査における「公衆衛生業務」「社会医学系専門医」選択肢の影響調査
公衆衛生学・社会医学領域での医師の確保・育成、さらにキャリア観やリクルートへの短期間の影響（半年から1年）をオンライン調査
- 7) 当協会の役割についての更なる検討

一般の人々も含めた公衆衛生の普及、社会医学系の医師の確保の推進などの
当協会の役割についてもさらに検討していく

7. 法人運営のための事業

1) 社員総会の開催

定時社員総会:2025(令和7)年9月頃に開催。

臨時社員総会:理事の交代の承認など随時開催。

2) 理事会の開催

年3回開催

2025(令和7)年9月XX日 決算(定時社員総会の前)

2026(令和8)年2月頃 協会運営に関する事項の検討

2026(令和8)年6月頃 事業計画、収支予算等

3) 業務執行理事会の開催

適時開催(各総会・理事会前など)

「計画の進捗管理、課題の洗い出しと対応、予算管理、収支管理、情報管理システムの検討等」

4) 事務局業務の効率化について

事務局機能の管理、業務の効率化・システム化を行う

旅費規程、報酬規程を運用する。

5) 友好社員制度の推進

友好社員制度の順調な推進を図る。

以上

2025年度 社会医学系専門医協会予算

科 目	2025年度予算	2024年度予算	差額	備考欄
(収入の部)				
事業収益	27,896,150	31,992,670	△4,096,520	
申請料収入	5,068,150	7,107,470	△2,039,320	
専門医試験料	2,376,000	2,376,000		120人
更新審査料	2,494,150	4,335,470		更新年150人、更新延期70人
特例措置審査料	198,000	396,000		20人
認定登録料収入	5,328,000	7,385,200	△2,057,200	
年間登録料収入	17,500,000	17,500,000	0	3,500人
雑収入	10,000	10,000	0	
受取利息	10,000	10,000	0	
雑収益	0	0	0	
当期収入合計 (A)	27,906,150	32,002,670	△4,096,520	
前年度からの繰越金	100,000,000	100,000,000	0	
収入合計 (B)	127,906,150	132,002,670	△4,096,520	
(支出の部)				
事業費	51,246,355	52,200,307	△953,952	
旅費交通費	4,430,000	5880000	△1,450,000	ウェブ会議を主とし、必要に応じてオンサイト、ハイブリッドを想定
総会	280,000	280000	0	
理事会	280,000	840000	△560,000	
業務執行理事会	120,000	360000	△240,000	
委員会・分科会	2,000,000	3000000	△1,000,000	
専門医試験実施	500,000	500000	0	
その他	1,250,000	900000	350,000	
会議費	1,735,500	2,850,000	△1,114,500	ウェブ会議を主とし、必要に応じてオンサイト、ハイブリッドを想定
理事会・社員総会	60,000	270,000	△210,000	
委員会・部会費	355,500	660,000	△304,500	
会議室使用料	500,000	1,300,000	△800,000	
専門医試験会場費等	700,000	500,000	200,000	
ネット会議システム使用料	120,000	120,000	0	
印刷製本費	2,306,000	1,821,500	484,500	
コピー・プリント代	1,500,000	1,500,000	0	
認定書等印刷	306,000	246,500	59,500	更新、認定者数 360人を想定
パンフレット・チラシ印刷	200,000	75,000	125,000	
請求書印刷	300,000	300,000	0	
通信運搬費	1,308,600	1,272,900	35,700	
消耗品費	700,000	700,000	0	
E-ラーニング保守管理費	3,900,000	3,900,000	0	
E-ラーニング教材作成費	500,000	500,000	0	コンテンツの編集作業、更新作業
E-ラーニングシステム利用費	3,400,000	3,400,000	0	
開発保守費	7,500,000	7,500,000	0	
HP作成費	1,000,000	1,000,000	0	
会員管理・申請システム	4,000,000	4,000,000	0	
研修記録管理システム	2,500,000	2,500,000	0	
支払手数料	116,640	116,640	0	委員会14回×15人、理事会総会3回×10、その他30回
謝金	5,250,000	5,010,000	240,000	
研修等講師謝金	1,960,000	1,960,000	0	
専門医試験謝金	1,050,000	1,050,000	0	
広報活動講師謝金	240,000	0	240,000	
テキスト作成謝金	2,000,000	2,000,000	0	
租税公課	1,109,615	1,519,267	△409,652	収入減による消費税減
事務委託費	18,330,000	18,330,000	0	
協会事務局委託	12,000,000	12,000,000	0	
公認会計士委託料	330,000	330,000	0	
専門医試験事務委託	3,000,000	3,000,000	0	
テキスト作成事務委託	3,000,000	3,000,000	0	
広報費	3,260,000	2,000,000	1,260,000	社員の広報法活動への助成等の新設
研修費	300,000	300,000	0	
雑費	1,000,000	1,000,000	0	
その他	1,000,000	1,000,000	0	
雑費	0	0	0	
当期支出合計 (C)	51,246,355	52,200,307	△953,952	
当期収支差額 (A) - (C)	△23,340,205	△20,197,637	△3,142,568	
次期繰越収支差額(B) - (C)	76,659,795	47,799,693	28,860,102	

社会医学系専門医協会

経費区分	支出額	積 算 内 訳				備 考		
		品目	個数	単価	計			
申請料等収入	27,896,150	申請料収入	人	×	@	円	5,068,150 円	
		専門医試験料	120 人	×	@	19800 円	2,376,000 円	
		更新審査料（更新年）	150 人	×	@	9901 円	1,485,150 円	
		1年延長更新審査料	10 人	×	@	11800 円	118,000 円	
		2年延長更新審査料	30 人	×	@	13860 円	415,800 円	
		3年延長更新審査料	30 人	×	@	15840 円	475,200 円	
		特例措置審査料	20 人	×	@	9900 円	198,000 円	
		認定料	360 人	×	@	14,800 円	5,328,000 円	
		年間登録料	3,500 人	×	@	5,000 円	17,500,000 円	
社員学会分担金	0		0 団体	×	@	円	0 円	
雑収入	10,000	雑収益 基本プログラム受講料 学会参加者	0 人	×	@	3,000 円	0 円	
		雑収益 基本プログラム受講料 学会日参加者	0 人	×	@	6,000 円	0 円	
		返金					0 円	
		受取利息					10,000 円	利息等
当期収入	27,906,150							
繰越金	100,000,000	繰越金					100,000,000 円	
収入合計	127,906,150							
旅費交通費	4,430,000	総会	1 回	×	@	280,000 円	280,000 円	
		理事会	1 回	×	@	280,000 円	280,000 円	実績に合わせて回数減
		業務執行理事会	1 回	×	@	120,000 円	120,000 円	実績に合わせて回数減
		企画運営委員会	1 回	×	@	250,000 円	250,000 円	実績に合わせて回数減
		研修プログラム認定委員会	1 回	×	@	250,000 円	250,000 円	実績に合わせて回数減
		友好社員委員会	1 回	×	@	250,000 円	250,000 円	実績に合わせて回数減
		専門医・指導医認定委員会	2 回	×	@	250,000 円	500,000 円	実績に合わせて回数減
		専門医試験部会	3 回	×	@	250,000 円	750,000 円	
		専門医試験実施	1 回	×	@	500,000 円	500,000 円	
		広報活動	2 回	×	@	250,000 円	500,000 円	
		施設訪問	2 回	×	@	150,000 円	300,000 円	実績に合わせて回数減
		他学会専門医制度視察等	1 回	×	@	150,000 円	150,000 円	
		その他	1 式	×	@	300,000 円	300,000 円	
通信運搬費	1,308,600	切手代	1 式	×	@	1,050,000 円	1,050,000 円	300円×3500人
		認定証発送	360 件	×	@	510 円	183,600 円	認定料発生に合わせた
		電話代	1 式	×	@	0 円	0 円	事務局委託に含む
		宅配便代	50 件	×	@	1,500 円	75,000 円	
支払い手数料	116,640	振込手数料	270 回	×	@	432 円	116,640 円	
消耗品	700,000	消耗品	1 式	×	@	700,000 円	700,000 円	
印刷製本費	2,306,000	コピー・プリント代	1 式	×	@	1,500,000 円	1,500,000 円	
		認定証印刷	360 部	×	@	150 円	54,000 円	認定料発生に合わせた
		認定証カバー	360 部	×	@	700 円	252,000 円	認定料発生に合わせた
		パンフレット	1 式	×	@	200,000 円	200,000 円	
		請求書等	1 式	×	@	300,000 円	300,000 円	
謝金	5,250,000	謝金（基本プログラム講師等）	7 人	×	@	40,000 円	280,000 円	GA
		謝金（受付手伝い等）	2 人	×	@	8,300 円	16,600 円	0 分野
		謝金（広報活動講師謝金）	6 人	×	@	40,000 円	240,000 円	
		専門医試験謝金等	50 人	×	@	21,000 円	1,050,000 円	
		テキスト執筆謝金	50 人	×	@	40,000 円	2,000,000 円	標準テキスト作成のために計上
租税公課	1,109,615	都民税等	1 式	×	@	70,000 円	70,000 円	7万 都民税 最低額
		消費税	1 式	×	@	1,039,615 円	1,039,615 円	申請料収入、認定料に対して10%で計上（最大額）
会議費	1,735,500	総会	15 人	×	@	1,500 円	22,500 円	弁当代等
		理事会	15 人	×	@	1,500 円	22,500 円	弁当代等
		業務執行理事会	10 人	×	@	1,500 円	15,000 円	弁当代等
		企画運営委員会	20 人	×	@	1,500 円	30,000 円	弁当代等
		研修プログラム認定委員会	20 人	×	@	1,500 円	30,000 円	弁当代等
		友好社員委員会	17 人	×	@	1,500 円	25,500 円	弁当代等
		専門医・指導医認定委員会	20 人	×	@	1,500 円	30,000 円	弁当代等
		専門医試験部会	20 人	×	@	1,500 円	30,000 円	弁当代等
		専門医試験	40 人	×	@	3,000 円	120,000 円	弁当代等
		専門医試験会場費等	1 式	×	@	700,000 円	700,000 円	物価上昇分の増額
		ネット会議システム使用料	1 式	×	@	120,000 円	120,000 円	回線使用料を含む
		会議室使用料	10 回	×	@	50,000 円	500,000 円	対面会議開催数に合わせて削減
事務委託費	18,330,000	事務委託 年間	1 式	×	@	12,000,000 円	12,000,000 円	事務局体制強化対策費を含む
		公認会計士委託料	1 式	×	@	330,000 円	330,000 円	会計書類の確認、監査、消費税関連書類
		専門医試験部会 事務局委託年間	1 式	×	@	3,000,000 円	3,000,000 円	
		テキスト作成事務委託	1 式	×	@	3,000,000 円	3,000,000 円	
広報費	3,260,000	学会総会等での広報活動費	1 式	×	@	1,260,000 円	1,260,000 円	調査研究及び学会等での広報活動費
		社員団体の広報活動等の共催分担金	1 式	×	@	2,000,000 円	2,000,000 円	社員の広報活動に対する助成等
研修費	300,000	講習会等への参加等	1 式	×	@	300,000 円	300,000 円	
E－ラーニング保守管理費	3,900,000	E－ラーニング教材作成費	1 式	×	@	500,000 円	500,000 円	更新で作成費の半額
		E－ラーニングシステム利用費	3,400 人	×	@	1,000 円	3,400,000 円	
開発保守費	7,500,000	HP作成費	1 式	×	@	1,000,000 円	1,000,000 円	保守管理を含む
		会員管理、申請システム	1 式	×	@	4,000,000 円	4,000,000 円	更新等（研修単位、更新の申請、登録）の管理システムを開発
		研修記録管理システム	1 式	×	@	2,500,000 円	2,500,000 円	
雑費	1,000,000	その他	1 式	×	@	1,000,000 円	1,000,000 円	
支出合計	51,246,355							